

## 【参考資料】

直轄河川災害復旧事業とは

直轄河川災害復旧事業とは、国土交通省が直轄で管理する河川の区間内などにおいて、暴風、洪水、高潮、地震、その他の異常な天然現象により被災した施設を、原形に復旧するものです。

採択箇所（被災箇所）位置図



出水概要

今回降雨の総雨量は、最上川の源流である吾妻山で264mm、須川流域で馬見ヶ崎川上流の関沢で232mmに達するなど、奥羽山系南部、朝日山系、吾妻山系で200mmを超える大雨となりました。

これらに伴い、最上川における高島町から新庄市までの9箇所の水位観測所と、須川における山形市の1箇所の水位観測所で、それぞれ「氾濫、災害発生のおそれがあり、水防団が活動を始める」水位である警戒水位を超過しました。



被災状況

被災の状況は各箇所により異なりますが、主な状況は次のとおりです。

被災(河岸洗掘)状況

